

# 第43回 会長杯争奪支部対抗戦大会要綱と結果

2017年4月23日

主催：秦野市テニス協会  
大会委員会

1. 試合方法 5ポイント(男子D×3、女子D×1、混合D×1)による団体戦(予選：リーグ戦、決勝：トーナメント戦)  
試合順序は男子D No.3、男子D No.2、女子D、混合D、男子D No.1とする。  
予選リーグは全試合6ゲームマッチ、セミバンテージ方式、セルフジャッジとする。(6-6 タイブ레이크)  
決勝トーナメントは全試合6ゲームマッチ、セミアドバンテージ方式、セルフジャッジとする。(6-6タイブ레이크)  
ただし、試合進行具合や天候等により競技方法を変更する場合があります。

【予選リーグ】 A～Dブロックの計4ブロックによるリーグ戦とする。

予選リーグ組み合わせ

ブロック	A	B	C	D
チーム①	マックス	日立神奈川	日立情報通信	小田急HTG
チーム②	フットフォルトB	渋沢丘陵TC	サプライズ	スタンレー
チーム③	秦野市役所	日鍛バルブTC	バラーバル	フットフォルトA

・予選リーグの順位は、以下の順で決定する。

- (1)勝敗数(勝率)、(2)取得ゲーム率、(3)くじ引き

【順位決定トーナメント】

- ・1～4位順位決定トーナメント：各ブロック1位の4チームによるトーナメント戦とする
- ・5～8位順位決定トーナメント：各ブロック2位の4チームによるトーナメント戦とする ⇒ **順位決定リーグ戦に変更**
- ・9～12位順位決定トーナメント：各ブロック3位の4チームによるトーナメント戦とする
- ・決勝トーナメントの組み合わせは、予選リーグ終了後にくじ引にて決定する

渋沢丘陵TC

順位決定トーナメントへの不参加連絡を受けて5～8位決定トーナメントをリーグ戦に変更する。(2018.04.17)

【3/25(日)雨天順延時】

- ・4/21(土)は12チームによるトーナメント戦とする。

## 2. 日程/会場

日程	3/25(日)	4/21(土)	4/28(土)
集合時間	受付(全チーム) 8:50 開会式	受付(全チーム) 8:50	別途連絡
会場	カルチャーパーク オムニ6面 9:00～17:00 オムニ4面 9:00～13:00	カルチャーパーク オムニ6面 9:00～17:00	カルチャーパーク オムニ6面 9:00～17:00
試合形式	4チーム/1ブロック による予選リーグ	順位決定トーナメント	予備日
順延時の日程	4/21に順延 (トーナメント方式に変更)	4/28に順延	別途連絡
進行	大会委員会		
コートレフリー	大会委員会		

オムニ6面  
(コートNo.5～10)

オムニ4面  
(コートNo.1～4)

※3/25(日)のみ、各チーム初戦の前に15分程度の練習を予定しています。

## 3. 注意事項

- ・選手の重複出場は出来ません。(最低男子7名、女子3名必要)  
ただし、選手が不足の場合、他支部との混成チームも可。
- ・試合の時の服装はテニスウェア着用を遵守願います。
- ・試合前の練習は初戦のサービス4本のみとします。
- ・天候不良等で試合開催不明の時も、定刻に会場に集合し本部の指示に従って下さい。

## 4. 本大会に関するご質問の問い合わせ先：

秦野市テニス協会 事務局(mail: hadano\_ta@yahoo.co.jp)

## 5. その他

本大会の日程、試合経過は秦野市テニス協会HPで確認できます。

<http://hadano-tennis.com>

以上

## 第43回 秦野市会長杯争奪支部対抗戦

### 予選リーグ 対戦表

【Aブロック】 試合順序 (1)①vs②、(2)①vs③、(3)②vs③

Aブロック		マックス	フットフォルトB	秦野市役所	勝敗数	勝利試合数	取得ゲーム率	順位
①	マックス		5 - 0	5 - 0	2 - 0			1
②	フットフォルトB	0 - 5		2 - 3	0 - 2			3
③	秦野市役所	0 - 5	3 - 2		1 - 1			2

【Bブロック】 試合順序 (1)①vs②、(2)①vs③、(3)②vs③

Bブロック		日立神奈川	渋沢丘陵TC	日鍛バルブTC	勝敗数	勝利試合数	取得セット率	順位
①	日立神奈川		4 - 1	4 - 1	2 - 0			1
②	渋沢丘陵TC	1 - 4		3 - 2	1 - 1			2
③	日鍛バルブTC	1 - 4	2 - 3		0 - 2			3

【Cブロック】 試合順序 (1)①vs②、(2)①vs③、(3)②vs③

Cブロック		日立情報通信	サプライズ	パラーバル	勝敗数	勝利試合数	取得セット率	順位
①	日立情報通信		4 - 1	3 - 2	2 - 0	-		1
②	サプライズ	1 - 4		1 - 4	0 - 2	-		3
③	パラーバル	2 - 3	4 - 1		1 - 1	-		2

【Cブロック】 試合順序 (1)①vs②、(2)①vs③、(3)②vs③

Dブロック		小田急HTG	スタンレー	フットフォルトA	勝敗数	勝利試合数	取得セット率	順位
①	小田急HTG		3 - 2	2 - 3	1 - 1	45 - 85	0.5294	1
②	スタンレー	2 - 3		3 - 2	1 - 1	43 - 93	0.4623	3
③	フットフォルトA	3 - 2	2 - 3		1 - 1	44 - 86	0.5116	2

# 第43回 秦野市会長杯争奪支部対抗戦

◇ 1～4位順位決定トーナメント(予選各ブロック1位の4チームによるトーナメント戦)

No	チーム名			
1	小田急HTG	A(1)	日立神奈川 3-2	マックス 3-2
2	日立神奈川			
3	日立情報通信	A(2)	マックス 5-0	
4	マックス			
		A(4)		マックス

3位決定戦

No	チーム名		
1	小田急HTG	A(3)	小田急HTG 3-2
2	日立情報通信		小田急HTG

◇ 5～8位順位決定トーナメント(予選各ブロック2位の4チームによるリーグ戦)

※ 渋沢丘陵出場辞退の為トーナメントからリーグ戦に変更

No	チーム名	フットフォルトA	秦野市役所	バラーバル	順位
1	フットフォルトA		4-1	3-2	5
2	秦野市役所	1-4		4-1	6
3	バラーバル	2-3	1-4		7

◇ 9～12位順位決定トーナメント(予選各ブロック3位の4チームによるトーナメント戦)

No	チーム名			
1	スタンレー	C(1)	スタンレー 4-1	スタンレー 4-1
2	日鍛バルブ			
3	サプライズ	C(2)	サプライズ 3-2	
4	フットフォルトB			
		C(4)		スタンレー

11位決定戦

No	チーム名		
1	日鍛バルブ	C(3)	日鍛バルブ 5-0
2	フットフォルトB		日鍛バルブ

## 【順位】

優勝 マックス	2位 日立神奈川	3位 小田急HTG	4位 日立情報通信
5位 フットフォルトA	6位 秦野市役所	7位 バラーバル	8位 渋沢丘陵
9位 スタンレー	10位 サプライズ	11位 日鍛バルブ	12位 フットフォルトB

## ※試合規定及び注意事項

1. 日程表の定刻までにプレーが開始出来る状態で受付を済ませて下さい。受付の無い場合、直ちに棄権とみなします。受付を終了していても、試合開始コール時に不在で、試合の進行に支障を来たす時は棄権とみなします。
2. 服装はテニスウェアを着用を希望いたします。
3. 試合前のウォーミングアップはサービス4本のみです。
4. 審判はセルフジャッジとし、プレーヤー以外のジャッジを禁止します。その他、著しいマナー違反と認められる場合、レフェリーはプレーヤーの失格を勧告することがあります。試合運営全てに関する最終的権限はレフェリーにあるものとします。ルールについては、JTA テニスルールブック 2017に準じます。
5. 当日予定している試合進行により繰り上げて試合を行うこともあります。また、天候不良等の場合、コートレフリーの判断により、順延または会場の変更も変更もありますので各自で大会会場にてコートレフリーに確認してください。
6. 試合が終了したら(予選ブロックの場合はチームの5試合が終了したら)勝者が速やかに本部に報告してください。この時使用したボールを返却願います。
7. 当日天候不順等で試合の有無が不明の場合も、定刻までにコートに集合願います。運動公園およびおね公園のコート管理事務所では、大会の運営に関する問合せサービスは実施していません。天候不良で大会の開催が判らない時は、大会会場で各自がコートレフリーの指示に従ってください。
8. 参加者は会場の美化に注意願います。(ごみ・空き缶・吸殻等)

## セルフジャッジ試合形式での注意点

1. ネットより自分の側に関する判定は全て自分の責任である。自分で判定出来なかった時は、そのボールはグッドである。但し、相手にその判定についてアドバイスを受けても良いが、相手のアドバイスが最終となる。決して観客の助けを借りてはならない。
2. 判定とコール(アウト・フォルト等)は相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに行う。代表的なハンドシグナルは、人差し指を出してアウト、フォルトを示し、手のひらを地面に向けてグッドを示す。明らかにアウトと思われるボールも落下前に判定をしてはならない。ダブルスの場合ペアのいずれか一方が行えば最終となる。
3. 新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まる前にサーバーは必ずレシーバーに聞こえる様にカウントのアナウンスをすること。
4. サービスのネットをコール出来るのはレシーバー側のみである。誤ってサーバー側がコールした場合サーバー側の失点となる。(1回目警告、2回目以降失点)
5. レシーバー側から見て、どう見てもサーバーがフットフォルトを犯していると判断したときは、速やかにレフェリーを呼び、事情を説明し善処してもらうことが出来る。
6. 様々な理由(トイレブレイク、飲物等の補給、着衣の突然の不良化等々不可抗力による事態)により、試合中一時コートを離れる場合は、相手に説明し同意を得なければならない。相手が同意しない場合はレフェリーを呼ぶことが出来る。
7. 規則の法的解釈等、選手同士で解決できないような紛争発生の場合、いずれの選手もレフェリーを呼ぶことが出来る。
8. レフェリーは、明らかなミスジャッジに対してオーバールールをすることが出来る。